

# 山形県立新庄病院

〒996-0025 新庄市若葉町12-55 http://www.ysh.pref.yamagata.jp/

病 院 長：鈴木 知信  
病 床 数：465【一般：463／感染症：2】  
医 師 数：47  
診 療 科 目：内、神内、小、外、整、形成、脳、皮、泌、産婦、眼、耳、放、  
麻、循、リハ

●問い合わせ先  
山形県立新庄病院 総務課 伊藤  
tel.0233-22-5525 fax.0233-23-2987  
E-mail：yshinbyo@pref.yamagata.jp

## ●病院の概要



### ○山形県最上二次保健医療圏唯一の中核病院です。

昭和27年の設立以来半世紀、「仁・愛・和」を基本理念とする病院憲章の下、高度化、多様化する地域の医療需要に応える努力を積み重ねてきました。一次から三次医療まで、さまざまな症例の患者の方々が来院され、心臓外科等一部専門領域を除いたほとんどの症例に対応した衣料を提供しています。

### ○救急指定病院として、地域のほとんどの救急患者が搬送されます。

1日46人、うち救急車搬送5.0人(20年度平均)の救急患者を受け入れています。消防本部と連携し、地域メディカルコントロール体制の中心として、救急患者の救命率向上に努めています。

気管挿管実習等の救急救命士の病院実習を積極的に受け入れています。麻酔科医師等救急スタッフの充実強化を図っています。

### ○へき地医療拠点病院として、地域の町立病院、村立診療所と連携し、画像診断システム等を活用した遠隔医療を推進しています。

画像診断等を通じて、地域の病院、診療所を支援しています。地域医療機関に院内の症例検討会、ICLS勉強会等を開放しています。地域医療室を設置し、一層の地域連携を進めています。

### ○病院見学会について

随時受け入れしております。総務課研修医募集担当まで、ご希望の日時等をご連絡ください。(旅費支給)

## ●募集について

### 臨床研修

- 平成22年度臨床研修医募集定員：4名
- 平成21年度研修受入数
  - ・1年次：1名
  - ・2年次：2名
- 処 遇
  - ・基本給：342,114円(初年度)・360,126円(2年目)
  - ・住居手当、通勤手当、時間外手当、宿日直手当有
  - ・年間概算支給額例：4,500,000円程度(初年度)6,000,000円程度(2年目)

### ●研修医の募集及び採用の方法等

- ・募集方法：公募
- ・選考方法：面接
- ・応募必要書類：選考申込書、履歴書、成績証明書
- ・マッチング利用の有無：有

### ●診療科ごとの入院患者・外来患者の数(平成20年度実績)

診療科名	年間入院患者実数	平均在院日数	年間新外来患者数	1日平均外来患者数	年間外来診療日数	常勤医師数	指導医数
内 科	2,805	22.6	6,076	260.3	245	13	10
小 児 科	520	6.1	6,906	69.9	245	3	3
外 科	869	14.5	1,073	51.4	245	6	6
整形外科	714	27.9	2,576	98.2	245	4	2
形成外科	112	15.9	856	23.6	245	2	1
脳 外 科	340	50.9	1,010	48.3	245	2	2
皮 膚 科	73	12.1	2,532	65.4	245	1	1
泌 尿 器 科	84	5.7	728	38.0	245	1	1
産 婦 人 科	739	8.5	1,863	71.0	245	2	1
眼 科	47	7.2	970	43.7	245	2	1
耳鼻咽喉科	455	13.0	1,985	97.6	245	3	2
麻 酔 科						3	2
放 射 線 科			282	4.7	245	2	1
計	6,758	19.1	26,857	901.7	245	44	33

注)内科は、神経内科を含む

※医師数はH21.4.1現在

### ●各種指定の状況

- ・医師臨床研修病院(基幹型及び協力型)
- ・へき地医療拠点病院
- ・救急告示病院
- ・災害拠点病院
- ・エイズ治療拠点病院
- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・第二種感染症指定医療機関
- ・日本医療機能評価機構バージョン5.0認定病院
- ・山形県肝炎専門医療機関

### ●各学会研修施設等認定状況

- ・日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ・日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本食道学会全国登録認定施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所
- ・日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本産科・新生児医学会周産期新生児専門医暫定研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本形成外科学会教育関連施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練協力機関
- ・日本静脈経腸栄養学会N S T稼働施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・東北大学病院地域医療連携施設
- ・宮城県こども病院地域連携登録医療機関
- ・特定非営利法人 日本緩和医療学会認定研修施設

### 後期研修

- 平成22年度専門研修医募集定員：2名
- 平成21年度研修受入数：受け入れはありません。
- 処 遇
  - ・基本給：県職員に準ずる
  - ・住居手当、通勤手当、時間外手当、宿日直手当、期末勤勉手当、扶養手当有
  - ・年間概算支給額例：600～1,600万円
- 身 分：一般職に属する有期限常勤職員(3年以上)
- 研修医の募集及び採用の方法等
  - ・募集方法：公募
  - ・申込資格：初期臨床研修2年間を修了した医師
  - ・選考方法：面接(平成22年3月)
  - ・応募必要書類：選考申込書、履歴書(写真添付)、医師免許証の写し、研修評価表

## ●プログラムについて

### 臨床研修

- ・充実したスタッフの下、メディカルコントロールをはじめ、一次から高度救急医療まで、救急医療の現場を、多数経験できます。
- ・一次から三次医療まで、多種多様な症例を数多く経験することができます。
- ・地域内の町立病院、村立診療所、保健所等を含めた研修を行うことにより、地域医療の実際を体得できます。
- ・6カ月の自由選択研修を取り入れることにより、将来の専門性も考えた研修を行うことができます。
- ・少人数(4人/年)の利点を活かし、研修医の皆さんの希望を最大限尊重したマンツーマンの研修を行います。

### ●研修スケジュール(21年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内 科						麻酔科・救急			外科		
2年次	小児科		産婦		精神		地域保健医療		自由選択(必修分野+必修以外の各診療科)			

### 後期研修

- ・充実したスタッフの下、メディカルコントロールをはじめ、一次から高度救急医療まで、救急医療の現場を、多数経験できます。
- ・一次から三次医療まで、多種多様な症例を数多く経験することができます。
- ・少人数(2人/年)の利点を活かし、研修医の皆さんの希望を最大限尊重したマンツーマンの研修を行います。
- ・プログラム保有診療科：総合内科・内科(消化器)・神経内科・循環器科・外科・整形外科・形成外科・皮膚科・産婦人科・耳鼻咽喉科・麻酔科
- ・プログラム内容：病院ホームページを御覧ください。

### 取得できる専門医資格の名称

- ・日本内科学会認定医
- ・日本呼吸器外科学会専門医
- ・日本外科学会外科専門医
- ・日本消化器外科学会専門医
- ・日本乳癌学会乳癌専門医
- ・日本がん治療認定医
- ・日本食道学会認定医
- ・日本整形外科学会専門医
- ・日本脳神経外科学会専門医
- ・日本脳卒中学会専門医
- ・日本皮膚科学会認定専門医
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医
- ・日本産科・新生児医学会周産期新生児専門医
- ・日本形成外科学会形成外科専門医
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医
- ・日本眼科学会専門医
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医
- ・日本麻酔科学会認定医
- ・日本麻酔科学会専門医

## ●医師紹介・メッセージ

### ●常勤勤務医紹介(指導医)

職 名	氏 名	診療科	学 科 認 定 医 等
院長	鈴木 知信	外科	指導医講習会受講、日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会指導医、日本医師会認定産業医
副院長(経営改善担当)(兼)地域医療部長	洪 間 久	内科	指導医講習会受講、日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、日本胸部外科学会認定医、日本医師会認定産業医、マンモグラフィ読影医、日本がん治療認定医機構暫定教育医
副院長(兼)教育研修部長(兼)病歴管理室長	蘇 慶 展	脳外科	指導医講習会受講、日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中専門医、日本がん治療認定医機構認定医・暫定教育医
第一診療部長	桜 本 基 嗣	内科	日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医
検査部長	八 戸 茂 美	内科	指導医講習会受講、日本消化器内視鏡学会専門医、日本内科学会認定医・指導医
第二診療部長	廣 野 撰	内科	指導医講習会受講、日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本超音波医学専門医
地域医療部副部長	結 城 孝 一	内科	
医療安全部副部長	本 間 直 之	内科	指導医講習会受講、日本内科学会認定医、日本透析医学会専門医
教育研修部副部長	佐 藤 一 賢	内科	指導医講習会受講、日本内科学会認定医、日本透析医学会専門医
医 長	東海林 佳 兼	内科	日本内科学会認定医
医 長	五十嵐 朗	内科	日本内科学会認定医
医 長	堀 内 英 和	内科	指導医講習会受講
教育研修部副部長	本 間 友 美	小児科	指導医講習会受講、日本小児科学会専門医
医 長	橋 本 多 恵 子	小児科	日本小児科学会専門医
医 長	豊 田 健 太 郎	小児科	日本小児科学会専門医

### ●指導医・研修医からのメッセージ

◎院長：鈴木 知信  
「研修医時代をどのような環境で如何に過ごしたか。それがその後の医師人生を左右する。」とはよく言われていることである。貴重な2年間を当院で研修される皆さんには、すばらしい医師に育てていただけるよう、各課指導医一丸となって応援するつもりです。

◎プログラム責任者 副院長：蘇 慶展  
当病院での後期研修では、医学技術の習得とともに、「地域住民の健康をみんなで守るのだ」という、組織人として、医師として、人間性を身につけるよう、努力して欲しい。病院スタッフ一同が応援します。

◎研修医：石垣 大輔  
当院は、研修医の募集定員が4名と少人数であり、なおかつ、地域唯一の中核病院であるので自分の目で見て、自分で考えて、自分の手を動かす機会が多いです。是非見学にいらして下さい。

職 名	氏 名	診療科	学 科 認 定 医 等
救急部長	石 山 智 敏	外科	指導医講習会受講、日本外科学会専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、日本がん治療認定医機構認定医・暫定教育医
手術部長	神 宮 彰	外科	指導医講習会受講、日本外科学会専門医、日本食道学会食道科認定医
救急部副部長	松 本 秀 一	外科	指導医講習会受講、日本外科学会専門医、検診マンモグラフィ読影認定医
医 長	山 本 隆	外科	日本外科学会認定医・専門医
放射線部副部長	菊 地 二 郎	外科	指導医講習会受講
医療安全部長	阿 部 義 幸	整形外科	指導医講習会受講、日本整形外科学会専門医
手術部副部長	服 部 弘 之	整形外科	
手術部副部長	岡 田 厚 夫	形成外科	日本形成外科学会専門医
医療安全部副部長	加 藤 直 樹	脳外科	日本脳神経外科学会専門医
第二診療部副部長	林 昌 浩	皮膚科	日本皮膚科学会専門医
第一診療部副部長	畑 地 康 助	泌尿器科	日本泌尿器科学会専門医
診療機材部長	椎 名 有 二	産婦人科	指導医講習会受講、日本産婦人科学会専門医、日本医師会産業医・健康スポーツ医
検査部副部長	菅 原 正 容	眼科	日本眼科学会専門医
救急部副部長	長 瀬 輝 顕	耳鼻咽喉科	日本耳鼻咽喉科学会専門医
医 長	和 氣 貴 祥	耳鼻咽喉科	指導医講習会受講
放射線部長	坂 垣 孝 知	放射線科	日本医学放射線学会専門医
診療機材部副部長(兼)集中治療室長	五十嵐 あゆ子	麻酔科	指導医講習会受講、日本麻酔科学会専門医・指導医
検査部副部長	佐 藤 正 義	麻酔科	指導医講習会受講、日本麻酔科学会専門医

◎研修医：木下 由宇  
数ある研修病院の中で、1つの研修病院を選択するという事はとても難しくまた正解というものはないのかもしれませんが、どの病気で長所短所があるからです。新庄病院は他の田舎の病院と同じように、人手不足で特に中堅の医師の数が少なく、若手にもどんどん症例や手技が回ってきます。各科の敷居も低く、迷ったり、わからない時はいつでも経験豊富な先生方からアドバイスを受けることができます。有名研修病院と比べ、レクチャーやカンファレンスは少ないかもしれませんが、積極性を持って取り組み、枠に囚われずに大きなチャンスも与えてもらえます。また教育研修部長はとても教育熱心で柔軟性があるため、どんな些細な研修医の意見も聞いて下さり、プログラムをより良い物にしてくれており、こちらが恐縮なくらいです。自由な雰囲気で一生涯懸命学びたい学生のみなさん、一度是非見学に来て下さい。